



平成31年1月1日 翠波の峰にて

平成 30 年第 4 回定例会は、去る 12 月 4 日から 21 日までの 18 日間の会期で開かれました。

今定例会には、平成 30 年度一般会計補正予算を初めとする市長提出議案 21 件、議員提出議案 2 件、承認 1 件、認定 2 件、選挙 1 件、請願 1 件、陳情 1 件が上程されました。

主な内容

- ① 議長、副議長就任挨拶等 ……P35
- ② 一般質問 ……P34 ～ P31
- ③ 議決結果一覧等 ……P31 ～ P30
- ④ 委員会の審査概要 ……P29 ～ P27

— 想い伝えるお手伝い。—



株式会社 ヨンパ

〒796-0431 香川県 2582 TEL 0896-25-2426 FAX 0896-25-2570

**土居町で今日も、
パン焼いています!**

国産小麦 100%

Bakery (ミニヨン ミニヨン)
mignon.mignon
☎0896-74-5858

(お電話でのご予約も受け付けております)
住所/市内土居町藤崎2692-1
open/10:00~16:00(南口方面)
定休日/月曜日・火曜日



水田法律事務所
愛媛弁護士会所属 弁護士水田大輔
まずはお気軽にお電話を

☎(0896) 22-4003
四国中央市川之江町1856-35
三木ビル3階



交通事故・相続
不動産の問題・離婚
債務整理
その他民事一般

平成30年 第1回 臨時会

平成30年第1回臨時会において、議長・副議長が選出されました

議長・副議長就任挨拶

議長
原田 泰樹

議長の略歴

昭和27年8月17日生(66歳)
平成10年2月8日初当選
四国中央市議5期目
環境経済委員会委員長
議会選出監査委員
などを歴任

副議長
三宅 繁博

副議長の略歴

昭和28年4月12日生(65歳)
平成24年4月22日初当選
四国中央市議3期目
産業建設委員会委員長
議会改革調査特別委員会委員長
などを歴任

市民の皆さまには、日頃から市議会に対し、深いご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

私たちは、12月臨時会におきまして、議長、副議長に就任いたしました。

その職責の重大さに身の引き締まる思いであり、公正で円滑な議会運営のために、誠心誠意努力してまいります。

さて、四国中央市の顔となる新庁舎、三世代交流の拠点となる川之江ふれあい交流センターが完成し、また、市民文化ホール、東部学校給食センターなどの建設といった大型事業も順調に進んでおります。また、津根工業団地造成事業についても、順調に進捗しており、地域産業の振興と雇用の拡大につながるものと期待しているところでございます。

市議会におきましては、議会の役割や責務を明文化した議会基本条例を制定し、市民の多様な意見を反映させ議論する合議制の機関であることを常に自覚し、市民にわかりやすい開かれた信頼される議会を目指してまいります。

地場産業の振興や中核病院の整備そして少子高齢化対策など喫緊の課題が山積しておりますが、市民の皆さまの負託に応えられる市議会、そして市政の発展、市民生活の向上及び市民主権による自治を推進するため、ますます研鑽を積む所存でございます。どうか、今後とも、市議会に対し、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

常任・特別・議会運営委員会委員

◎委員長 ○副委員長

総務市民委員会

◎石川 剛
○石津千代子
国政 守
三好 平
吉田善三郎
原田 泰樹
谷 國光
西岡 政則

教育厚生委員会

◎眞鍋 幹雄
○吉原 敦
飛鷹 裕輔
三宅 繁博
谷内 開
篠永 誠司
井川 剛

産業建設委員会

◎苅田 清秀
○山本 照男
山川 和孝
川上 賢孝
青木 永六
曾我部 清
石川 秀光

議会運営委員会

◎吉田善三郎
○石川 剛
山川 和孝
川上 賢孝
山本 照男
青木 永六
石津千代子

議会選出監査委員



曾我部 清 議員

議会改革調査
特別委員会

◎篠永 誠司
○吉原 敦
三宅 繁博
川上 賢孝
吉田善三郎
青木 永六
西岡 政則

地方創生
特別委員会

◎石川 秀光
○苅田 清秀
眞鍋 幹雄
三好 平
山川 和孝
谷内 開
曾我部 清

広報ICT推進
特別委員会

◎井川 剛
○石津千代子
飛鷹 裕輔
石川 剛
国政 守
山本 照男
谷 國光

議会だより
編集委員会

◎三宅 繁博
○山川 和孝
石川 剛
国政 守
三好 平
篠永 誠司
井川 剛



一般質問

※紙面の都合上、質問・答弁の一部を要約して掲載しています

◆中核病院建設について

質問 旧県立三島病院を四国中央病院に移譲してから８年経過した昨年春、同病院を運営する公立学校共済組合が、「市内で旧県立三島病院と統合した中核となる病院を建設する方針を固めた」とのニュースがあった。その後の進捗状況と、今後の見込みを伺う。

答弁 市長



山川 和孝 議員

2018年５月に公立学校共済組合本部から、2025年を目途に中核病院を建設したいとの話があった。

この半年間の進捗状況は、公立学校共済組合本部と四国中央病院、市の三者で構成する担当者レベルの打ち合わせ会をこれまで３回開催し、まず建設地の選定について協議してきた。また、建設課題に対応するために庁内検討委員会を立ち上げた。

今後さまざまな課題がある中で、地域医療について、医療機関の調整や救急医療の問題をどうするのかを協議し、それらを含めた中核病院建設プランの検討が必要と考えている。

その他の質問 ○小・中学校の教育環境と施設整備について ○用途地域指定の見直しについて
○水道事業の現状と民営化について ○納税等の利便性の向上について

◆障がい者支援施設「太陽の家」移設、特別支援学校分校等の取り組み

質問 障がい者支援施設「太陽の家」移設が急務と思うが進んでいるのか。ノーマライゼーションに基づいて利用者の環境改善が急がれる。特別支援学校の開校準備はどうか。同学校のほか、小・中学校も支援する機能、センター的機能を活用することにより、障がい児教育環境もよくなると思うが。

答弁 市長、副市長、教育長、福祉部長



吉原 敦 議員

太陽の家の移設については、2018年３月に「四国中央市障害者支援施設等あり方検討委員会」から提言を受け、その後、自立支援協議会において利用者や地域の実情に最も適した施設規模や運営方針などについて議論を重ねてきた。その内容を取りまとめたものが、今年度末には市長へ答申される予定である。環境改善については、基本的人権やプライバシー確保の観点からも喫緊の課題として捉え、太陽の家の移転協議と密接に関連していることから今後の動向を注視しながらその方針に基づき進めていきたい。

特別支援学校の開校準備としては、現場での調査や検討を行いながら、基本設計及び実施設計の完成に向けて作業を進めている。分校のセンター的機能により、地域の幼稚園や小中学校などからの教育相談等、要請に応じて協力を行っていただき、市全体の特別支援教育の充実に期待できると考える。

◆性的少数者（LGBT）の人権保障について

質問 全国では児童生徒の名簿を男女性別で分けない混合名簿を使う小・中学校が71%。他市ではアンケートを生徒・保護者に行った事例を紹介する。本市でも、性差別をなくすためにも授業や行事などあらゆる場面で人権の視点を持って、混合名簿を推進すべき。

答弁 学校教育課長



飛鷹 裕輔 議員

市内小・中学校26校のうち、男女別の名簿を使用している学校が21校、男女混合名簿を使用している学校が5校ある。男女別の名簿の場合、身体計測や内科検診等、男女別にする必要がある場合や、健康診断書など男女別で書類を作成する必要がある場合には、利点がある。特に中学校の場合、男女別の体育科の授業では男女別名簿が欠かせなくなっている。

しかし、特段男女を区別する必要がない名簿に、男子が先で女子が後である場合も見受けられる。今後は、男女平等を教育の場で子供たちに教えるためにも、目的に応じて簡単に名簿を作成できるようにし、男女混合名簿をさらに積極的に取り入れることができるか検討していく必要があると考える。

その他の質問 ○エアコン設置の国庫補助（2018年度補正限定分）対応について

IXIL 住宅開発 アイフルホーム 川之江店（カジワラホーム新）
四国中央市、施工実績NO.1の家づくり
新商品 Simple Life. 自分スタイルで、賢く暮らす。
詳細はWeb スマホ対応しています
カシワラホーム株式会社 検索 愛媛県四国中央市東島町1210-1 TEL0896-56-7701

三島川之江インターから
三宮・大阪へ 1日9往復
東京・新宿・名古屋
松山・高知・徳島へ
好評運行中！
ジェイアール四国バス 検索 クリック
ジェイアール四国バス

新鮮！元気！
JAうま農産物直販所
ジャジャウま市 9時～16時（年中無休）
中之庄町1684-4 Tel:23-3377
おいでや市 9時～16時（火曜定休）
妻島町1121 Tel:59-6001
ふれあい市 9時～13時（火曜・年末年始定休）
金生町下分2550-2 Tel:58-3953

◆新宮小規模特認校事業の取り組みについて

質問 小中一貫教育校は特区が消えて、校区外希望受け入れの小規模特認校に平成 29 年度より移行。転入学申請者、許可者の実態と選定基準・選定組織体制を問う。12 億円を超える整備事業費を投入した特認校の将来展望と計画を問う。

答弁 市長、教育指導部長

転入学申請者は 2 年間で 40 名の申請があり、内 19 名の児童生徒に対し、校区外から通学を許可している。受け入れについては、新宮小中学校の伝統や良さを残しつつ発展させていく必要があること、また、急激な転入生の増加は新宮地域の児童にとって負担が大きいこと、新宮小中学校の教室の広さなどを総合的に勘案している。許可者の選考については、保護者、児童・生徒それぞれ面接を複数の面接官が行い、教育長を長とした入学者決定会議において最終判断を行い、入学許可者を決定している。

将来的には各学年 10 名程度の規模の学校を目指しており、現在のところ順調に推移しているものと考え。子供一人一人の将来の目標を達成できるよう、学校全体で支援するなど、少人数を生かし、きめ細かな指導をしている。また愛媛大学と連携した授業やサマースクールなどの新たな取り組みもある。新宮小中学校ならではの特色を生かしながら、さらに地域と学校が手を携えて子供を育てる環境を守り育てたいと考える。

その他の質問 ○乳児保育所こども村、乳児保育所こころの施設整備費の実態と根拠について
○障がい者雇用率の再点検について○自動車関連の災害時応援協定締結について



三好 平 議員

◆土居高校の紙のまちづくりコースについて

質問 平成 31 年度から土居高校において「紙のまちづくりコース」が新しくスタートするが、ますます土居高校と愛媛大学、さらに企業との産官学連携が強化され、日本一の紙のまちにふさわしい人材が育つなど影響を与えると考えるが、所見を伺う。

答弁 経済部長

土居高校では、今年度も 1 年生全員を対象に体験学習や地元企業での工場見学、商品開発といった多彩なメニューが実施されており、来年度からは、2・3 年生を対象とした「紙のまちづくりコース」を新設する予定であり、このコースでの学習を通じてコミュニケーション力を身につけプレゼンテーション能力を高めることにより、地域社会の発展に貢献できる資質や能力を備えた人物を育てることを目標に掲げている。

ついで、本市としても紙産業のさらなる発展に必要不可欠となる優秀な人材育成の場となるよう、愛媛県・愛媛大学・地元企業と連携し、さまざまな角度からバックアップしていきたいと考える。

その他の質問 ○全国観光甲子園大会優勝について
○手話言語について ○コミュニティ・スクールについて



眞鍋 幹雄 議員

◆在留外国人が地域に溶け込み共存していく多文化共生のための課題と対応について

質問 12 月 8 日の入管難民法の成立を受けて、本市においても在留外国人が増えることが予測される。今後、教育・医療・福祉・住宅など新たな社会的費用負担の問題等、多文化共生のための課題とその対応策について伺う。

答弁 政策部長

平成 26 年度策定の国際交流ビジョンの目標の一つに多様な文化が共生し安心・安全なまちづくり推進を掲げている。また、第二次四国中央市総合計画後期基本計画の施策では、2 点ほどあり、1 点目は紙産業を核とする産業集積の推進、具体的には地域産業を支える外国人労働者の確保に向けて、関係機関と連携を図ることや、2 点目として市民自治の促進、具体的には多文化共生社会の実現に向けて、日本語の学習支援や災害への対応など、外国人にとっても暮らしやすいまちづくりを市民と協働で進めることとしている。このような計画を基に多岐にわたる課題について今年度中の策定に向けて取り組んでいる。

次に、社会的費用の負担問題については、社会保険給付や福祉関係の給付、教育費等の問題があるが、市だけで解決できないこともあるので、今後の関連する法改正や国の動向を注視していく。

その他の質問 ○市民により親しまれる市役所を目指して。新庁舎や窓口センターのハード面、ソフト面の運営や事務の改善点や効率化について



吉田善三郎 議員

お詫びと訂正

市議会だより NO. 58 号（2018 年 11 月 1 日発行）の 31 ページに掲載した、谷 國光議員の一般質問の答弁の 2 行目に誤りがございましたので、お詫びして訂正いたします。

【訂正前】学校側にも 【訂正後】学校側には

◆災害時の職員減少の影響について

質問 合併後、職員数が減少している中、職務上期待されている公務員としての活動と地域で持たれる知識や情報の提供者としての役割の要望があるが、そういった市民の思いに応えるためのBCPや個人の取り組みは。また、人手の足りなさを埋めるための地域との関わりは。

答弁 市長、消防長



石川 剛 議員

市職員の防災力向上として、災害対応業務に対する職員のスキルアップが必要と考えており、「県・市町災害対策本部合同運営訓練」を県と合同で実施し、広域的な連携による災害対応訓練を行っている。また、地域で開催されている防災セミナーや救命救急講習等の防災活動に積極的に参加し、職員個々の防災意識の向上やスキルアップを図っている。

地域連携については、昨年度設立された「四国中央市自主防災組織連絡協議会」を通じて、市内自主防災組織の充実・連携強化を図っていきたいと考えている。また、今年度より市災害対策本部の支部体制を見直し、川之江・三島・土居・新宮の各災害対策支部を消防団各方面隊本部と併設し、地域防災活動の中心的役割を担う消防団と連携強化を図り迅速かつ的確な災害対応体制の構築を図った。今後は、市・消防団・自主防災組織などが連携を深め、地域に密着した体制づくりを推進し、さらなる地域防災力の強化に努めていきたい。

その他の質問 ○職員数の減少と担当部署による職務量の偏重について

◆災害時にペットをどう守るのか

質問 環境省によると西日本豪雨での広島・岡山・愛媛の150カ所の避難所で、犬と猫合わせて66頭しかいなかった。ガイドラインでは、飼い主自らの安全を確保したうえで同行避難することになっている。ペットと一緒に避難するためには何をすればいいのか、いざという時に備えてもらうため、防災セミナーやパネル展の開催、飼い主向けの冊子の配布をしてはどうか。

答弁 消防長



谷内 開 議員

ペットの同行避難は、動物愛護の観点だけでなく被災後の飼い主の心のケアとしても非常に大切であり重要と認識している。しかしながら、さまざまな人が共同生活を送る避難所においては、ペットに対するトラブルも多数報告されている。鳴き声や臭いに関する苦情、アレルギー体質の方、動物が苦手な方への配慮など、解決しなければならない課題がたくさんある。

防災セミナーやパネル展示、飼い主向けの冊子などの配布は、これらの諸問題を解決する方策として非常に有効な手段であることから、本市が開催する防災セミナー等の機会を捉え飼い主とペットが同行する避難方法の冊子の配布や、同行避難を受け入れる周囲の避難者への理解を求める啓発など積極的に取り組んでいきたいと考える。

その他の質問 ○若者をはじめとする有権者の投票率向上の取り組みについて
○地域未来投資促進法について

◆市民会館川之江会館の跡地整備計画について

質問 跡地の整備計画についての提言。周りに木を植樹し広場を芝生公園にして、一部分に子供たちが夏場に水遊びできる噴水プールを設置し、その周りに大人も休める東屋等を作り、街の中で市民が憩える公園整備を望む。子供が遊べる場所を作るのは子育て支援にもなる。

答弁 建設部長



石津千代子 議員

川之江会館解体後の広場や駐車場といった基本的な整備内容は決まっているが、詳細な整備内容について、現在検討中である。

ご提案の子供たちに人気の水遊びができる噴水や、また大人たちも休める東屋の設置については、広場に噴水を設置した場合には、夏場に涼を求める親子連れでにぎわうことも容易に想像できる。東屋についても憩いの空間として活用されることが見込まれる。広場の詳細な整備内容については、噴水及び東屋の設置も含めて今後、川之江ふれあい交流センターと連携を図りながら、地域のイベントや憩いの場、安全に子供たちを遊ばせる広場、居心地の良い広場として整備していきたいと考える。

その他の質問 ○食品ロスについて

議会を傍聴してみませんか？

本会議及び委員会は原則として公開していますので、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議及び委員会当日に、市役所6階で傍聴人受付簿に住所、氏名を御記入のうえ、傍聴してください。また、本会議の様子はケーブルテレビ、インターネットで生中継をしています。

◆日本経済を支える中小企業の支援強化について

質問 地元中小企業の事業承継・人手不足・資金繰り・設備投資支援についての本市の取り組みを伺う。本市においては、地元企業の皆さまからお聞きする一番の課題は人手不足であり、外国人技能実習生の受け入れ拡大について伺う。

答弁 副市長、経済部長、政策部長、産業支援課長、税務課長



国政 守 議員

地元中小企業の事業承継については、早めの準備と計画的な取り組みが必要であり、関係機関と連携しながら事業承継の不安解消に努めていきたい。また、資金繰りについては「四国中央市中小企業融資条例」をもとに企業の育成・振興を図っており、振興資金と緊急経営資金の2つの融資制度を活用してもらえるよう、多くの中小企業者へ本制度の周知に努めたい。さらに、設備投資については本市策定の導入促進基本計画に基づき、新規の認定設備に係る固定資産税の特例率を、取得後の翌年度から3年間ゼロとする条例を、先の6月議会において改正し、施行された。

外国人技能実習生の受け入れ拡大については、現行制度のもとで紙関連職種の追加に向けて業界が一丸となって取り組んでいるところであり、本市も労働力不足が中小企業の発展において支障とならないように支援していきたい。

その他の質問 ○書道パフォーマンスについて
○自殺防止対策の強化について

◆2025 年に向け、ベッド数を 329 床減らす国の地域医療構想押しつけは大問題

質問 国全体で 33 万床削減計画は、宇摩地域に 329 床の削減を求めている。療養病床から、医療・介護機能を持つ介護医療院へ 69 床の転換や、一定の介護へ転換はあるものの、医療構想調整会議での協議による民主的装いを凝らした病床削減は地域医療の将来が懸念される。

答弁 保健推進課長



青木 永六 議員

地域医療構想は、2025 年までに宇摩圏域において 329 床を削減するという構想になっているが、その中身は入院病床から介護施設等への転換によるものと、診療所等で休床にしていた病床を廃止することでの削減も含まれており、ただ単に入院病床削減を目的としているものではない。地域医療構想調整会議において、各医療機関自身が、地域における役割や病床機能等を客観的に把握し、それに応じた必要な体制の構築など、自主的な取り組みができることで、より良い機能が保たれることを期待している。市としても、市民の安心と安全を守るため、地域医療の課題について対応していきたいと考える。

その他の質問 ○国民健康保険料や介護保険料、保育料などの徴収強化について
○消費税税率アップの諸問題について

◆川之江浜地区の「港湾計画」（埋め立て事業）の進捗状況は

質問 12 月議会に計上されている、この事業のための補正予算を見ると「いよいよ」という気がする。地域の住民が待ち望んでいるこの計画事業が現在、どのくらいの進捗状況にあるのか伺う。

答弁 市長



谷 國光 議員

城山下埋め立て事業については、土地利用需要調査を実施し、土地利用計画を策定した。それらを検討した結果、平成 6 年に改訂した現港湾計画とは企業の業種や、利用形態について相違が生じており、今 12 月議会において、港湾計画変更の資料作成委託業務の補正予算を提出した。また、港湾計画変更の資料作成のためには、住宅用地・緑地など企業用地以外の土地需要についても調査する必要がある。川之江町の漁港周辺地域である浜 5 地区において、住宅用地等の土地需要についてアンケート調査を現在実施している。

もう一つの課題である川之江漁港の指定取り消しについては、県の漁港課・港湾海岸課・市の農林水産課・港湾課の 4 者協議により、水産庁との協議に向け緊密に協議を進めてきた。現在は協議の資料が整ったことにより、水産庁との協議日程の調整を図っているところである。

その他の質問 ○川之江南中学校の傷害事故の全容が見えてきた。その原因と責任は学校にあり

各議員の議案に対する賛否の状況

※ 賛否等の分かれた案件を記載しています
※ ○：賛成 ×：反対

氏 名	飛鷹	吉原	石川剛	国政	眞鍋	三好	山川	三宅	谷内	川上	篠永	山本	苅田	吉田	井川	原田	青木	石津	谷	曾我部	石川秀	西岡
議 案 番 号																						
議 案 第 81 号	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	○	○	○
議 案 第 94 号	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	○	○	○
認 定 第 1 号	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	×	○	○	○	○	○

平成 30 年 第 4 回 四国中央市議会定例会 議決結果一覧

番 号	件 名	議決結果
承認第 5 号	平成 30 年度四国中央市一般会計補正予算（第 6 号）の専決処分の承認を求めることについて	承 認
議案第 74 号	四国中央市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 75 号	四国中央市工業用水道事業供給条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 76 号	平成 30 年度四国中央市一般会計補正予算（第 7 号）	原案可決
議案第 77 号	平成 30 年度四国中央市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議案第 78 号	平成 30 年度四国中央市簡易水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議案第 79 号	公の施設の指定管理者の指定について（市民文化ホール）	原案可決
議案第 80 号	公の施設の指定管理者の指定について（新宮観光施設）	原案可決
議案第 81 号	八日市第 2 排水機場整備工事（土木）請負契約の締結について	原案可決
議案第 82 号	八日市第 2 排水機場整備工事（機械設備）請負契約の締結について	原案可決
議案第 83 号	物品購入契約の締結について（市民文化ホール舞台照明備品購入）	原案可決
議案第 84 号	物品購入契約の締結について（市民文化ホール舞台音響備品購入）	原案可決
議案第 85 号	物品購入契約の締結について（市民文化ホール舞台機構備品購入）	原案可決
議案第 86 号	四国中央市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 87 号	平成 30 年度四国中央市一般会計補正予算（第 8 号）	原案可決
議案第 88 号	平成 30 年度四国中央市介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 89 号	平成 30 年度四国中央市水道事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 90 号	平成 30 年度四国中央市簡易水道事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 91 号	平成 30 年度四国中央市工業用水道事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 92 号	平成 30 年度四国中央市公共下水道事業会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 93 号	四国中央市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同 意
議案第 94 号	川之江認定こども園建設工事（建築・機械設備）請負契約の締結について	原案可決
認定第 1 号	平成 29 年度四国中央市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 2 号	平成 29 年度四国中央市水道事業会計決算、四国中央市簡易水道事業会計決算及び四国中央市工業用水道事業会計決算の認定について	認 定
選挙第 1 号	愛媛県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	指名推選
議員提出 議案第 2 号	四国中央市議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決
議員提出 議案第 3 号	四国中央市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決
30 年 請願第 2 号	「後期高齢者の窓口負担の見直し」に当たり、原則 1 割負担の継続を求める意見書の提出を求める請願	継続審査
30 年 陳情第 2 号	「家庭教育支援法」の制定を求める意見書の提出を求める陳情	継続審査
30 年 請願第 1 号	日本政府が、「核兵器禁止条約」に署名・批准することを求める意見書の提出についての請願	継続審査
30 年 陳情第 1 号	防災体制・防災計画を検証する機関設置を求める陳情	継続審査

総務市民委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています
※委員会の様子をケーブルテレビで放送中

◎石川 剛 ○石津千代子 国政 守 三好 平 ◎委員長
吉田善三郎 原田 泰樹 谷 國光 西岡 政則 ○副委員長

●議案第 76 号「平成 30 年度四国中央市一般会計補正予算（第 7 号）」所管分

質問 ふるさと納税の現在の状況と推移についてどのようになっているのか。また、人気のある返礼品はどのようなものか。

答弁 平成 30 年 12 月 12 日現在で、561 件、577 万 7,000 円の寄附があった。
寄附の件数は、前年同時期で、1.5 倍に増えている。
人気のある返礼品は、紙製品（トイレットペーパー）・霧の森大福・里芋（伊予美人）の順番である。

●議案第 77 号「平成 30 年度四国中央市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）」

質問 保険料の減額補正は、料率を下げたからだと理解できるが、それ以外の過不足が生じる費目について示していただきたい。

答弁 平成 29 年度に交付を受けていた国庫負担金の精算により、交付過多分を国庫に返還するものである。

●議案第 79 号「公の施設の指定管理者の指定について」（市民文化ホール）

質問 8 月の開館に向けて、大まかなスケジュールはあるか。開館までに従事者の研修は行うのか。

答弁 今議会で指定管理の議決を受けた後に、NPO 法人と仕様書を含んだ協定を結ぶ。現在のところ、研修について決まったものはない。



市民文化ホール
(イメージ図)

本会議での発言を記録した 12 月定例会の「会議録」を、3 月上旬に市役所庁舎棟 1 階ロビー、各窓口センター及び市内各図書館に備えます。

また、市議会ホームページにも全文掲載します。検索も可能ですのでご覧ください。

あなたのお店や会社をPRしませんか！

広報四国中央

広告主募集！

問い合わせ先 広報広聴係 28-6158

新築 リフォーム 不動産

nisin 日新ハウジング株式会社

四国中央市中曾根町 1781-3 TEL 0896-24-1010

買い物にも便利な人気の中曽根小
東中校区で3区画の分譲地販売中!!

日新ハウジング四国中央 検索

住み慣れた地域で、にこやかに幸せに生活していただけます。

住宅型有料老人ホーム

ココロココ

COCOLOCOCO (旧サン・ファミリア)

ココロココ四国中央 / ココロココ三島

お問い合わせは ☎ 0120-652-350
<https://cocolococo.co.jp>

教育厚生委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています
※委員会の様子をケーブルテレビで放送中

◎眞鍋 幹雄 ○吉原 敦 飛鷹 裕輔 三宅 繁博 ◎委員長
谷内 開 篠永 誠司 井川 剛 ○副委員長

●議案第 76 号「平成 30 年度四国中央市一般会計補正予算（第 7 号）」所管分

質問 調査対象となるブロック塀は、どこの小・中学校か。

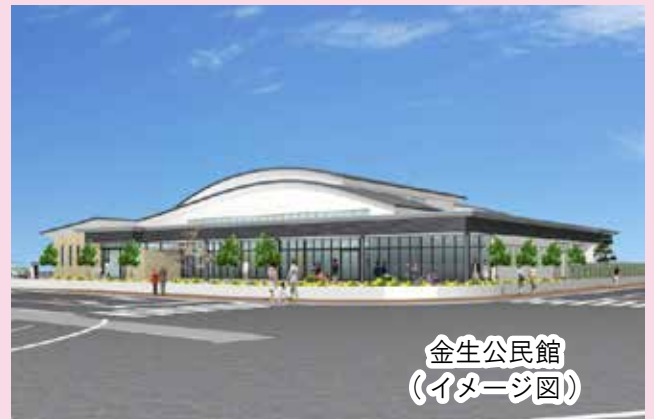
答弁 三島東中学校や新宮小中学校のような新しいところについては、ブロック塀そのものが無いので調査はしない。19 校が対象になり基礎調査を行う。

質問 9 月議会の一般質問で、通学路のブロック塀で 2 件ぐらい危険な箇所があると聞いたが、今回の調査には該当しないのか。

答弁 学校のブロック塀をやりかえるための調査になり、通学路は個人のブロック塀になるので、今回は含まれていない。

質問 金生公民館新築事業について、高額になっているのはなぜか。

答弁 事業費総額で 4 億 8,640 万円ほどになっている。公民館の面積に関しては各公民館区の人口規模を目安に面積を算出している。金生地区については、川之江地区に次いで大きい地区となるので、面積的にも大きな公民館となっている。そのためほかの施設よりも若干建設費の総額が多くなっている。建設単価で比較してみると、近年建設された、中之庄・長津・中曽根公民館と大きな違いはないと考えている。



質問 金生公民館の竣工はいつごろか。また、公民館機能以外に備えているものはあるか。

答弁 竣工予定は平成 32 年 1 月から 2 月頃としている。供用開始が平成 32 年 4 月からと考えている。また、災害時等に使用できるマンホールトイレや外部電源が供給できるような設備を予定している。

●議案第 87 号「平成 30 年度四国中央市一般会計補正予算（第 8 号）」所管分

質問 小・中学校の空調設備であるが、設計の委託期間が平成 31 年 8 月 31 日となっている。夏休み中の工事は、前倒しで契約するのか。

答弁 平成 31 年 2 月に中学校の設計が終わる予定なので工事を行い、それと並行して小学校の設計を行う。

婚活個別相談会開催
2月10日・11日・18日・19日
9:00～18:00 ご予約お問い合わせ
※しあわせたまご

「今年こそ！」
結婚したいご本人様、
子供さんに結婚してほしいご両親様、
家計はお任せお任せください。お任せください。
きっと、喜ばれたいと思います。

ライフプレイング **しあわせたまご**
☎0897-47-0688 西条市青木11622-1
happy@happygg-jin.jp

補聴器を無料でお試しできる
だから安心!

失敗しない補聴器選びを
お手伝いします。

azumio アズマ補聴器センター
アズマ補聴器は全店「認定補聴器専門店」です。
四国中央店 四国中央市中曾根2525 ☎0896-22-3341

たがみ鍼灸マッサージ院
出張できます（川之江・伊予三島地区）
営業時間：9:00～12:00 13:30～18:30
定休：木・土午後&日・祝

TEL 77-5111 予約優先
妻島町2870-1

産業建設委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています
※委員会の様子をケーブルテレビで放送中

◎荻田 清秀 ○山本 照男 山川 和孝 川上 賢孝 ◎委員長
青木 永六 曾我部 清 石川 秀光 ○副委員長

●議案第 75 号「四国中央市工業用水道事業供給条例の一部を改正する条例について」

質問 新宮水系については、日量 25 万 9,000 トンで 12 円 40 銭から 10 円になると、年間で約 2 億 2,000 万円減額することになるが、この時期に 2 円 40 銭減額する理由を伺う。

答弁 工業用水道については、平成 27 年度にアセットマネジメント計画を策定し、工業用水道の施設等の更新及び耐震化について検討を進めてきた。これを受けて、平成 30 年 3 月末に経営戦略を立てて財政面を含めて検討してきた。その結果、新宮水系については、料金を下げても経営戦略の中で今後 10 年間の経営は成り立ち、また、地場産業である製紙産業の地域間の競争力も料金を下げるにより強化されるものとする。

●議案第 76 号「平成 30 年度四国中央市一般会計補正予算（第 7 号）」所管分

質問 生活交通バス路線維持・確保対策事業 2,670 万 5,000 円における、瀬戸内バス 3 年間の乗車数の推移について伺う。

答弁 平成 29 年から平成 30 年 9 月までの補助対象期間における実績は、輸送人員は川之江新居浜線国道 11 号便で年間約 6 万 3,000 人、上分経由便で約 6 万 2,000 人、三島新宮霧の森線で約 4,800 人、三島新宮線で約 4,700 人、川之江七田線で約 1,200 人余りとなっている。

質問 3 年間での乗車数の推移はどのようになっているか。

答弁 横ばいの状態で推移している。

質問 港湾施設整備事業 8,000 万円の県と市の負担割合について伺う。

答弁 村松 5・6 号岸壁については市の専用バース（※）であるため、修繕等は全額市が負担することになっている。

質問 専用岸壁ということで全て市が負担することだが、市と県が共同で管理する施設はあるのか。

答弁 通常、公共岸壁は県の管理であるが、施設の修繕等の費用については愛媛県港湾管理条例上、3 分の 1 を市が負担することになっており、修繕工事については県が実施することになっている。市の専用バースについては、市が維持管理・修繕等を行っている。



村松 5・6 号岸壁

※バース：船の係留施設

《議会だより編集委員会》

編集委員 ◎印は委員長 ○印は副委員長

◎三宅 繁博 ○山川 和孝 石川 剛 国政 守 三好 平 篠永 誠司 井川 剛

【お問い合わせ先】

〒799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川 4 丁目 6-55（四国中央市議会内） TEL 0896-28-6048